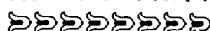


講演大会報告



臨時総会・第102回(昭和56年・秋季)講演大会記事

第102回講演大会は昭和56年11月1日～3日京都府内京都府中小企業会館で開催された。

開会式

開会式は木下本会専務理事司会のもと、中小企業会館大會議室で11月1日午前9時30分より開催され、盛利貞大会実行委員長(京都大学教授)挨拶で始まり、つづいて武田喜三会長の挨拶が行われた。

(武田会長挨拶)

「本大会が関西地区で開催されるのは、昭和49年以来7年ぶりである。大会の準備に当たった盛実行委員長、実行委員各位の尽力に御礼を申し上げる。」

本大会で発表される論文数は討論を含め770件となり、これは前回の関西地区大会に比べ400件増となつた。鉄鋼技術水準の向上にふさわしく、優れた論文で構成されている。

講演大会は会員各位の研鑽の場であり、今後の一層の発展を祈る。」

臨時総会

開会式に続いて臨時総会が開催された。武田会長が議長となり、会費値上げに伴う定款中一部変更を議案とし、初めに白松爾郎理事より議案の提案理由が説明され次の通り定款中一部変更することが承認決定された。

第11条 正会員は、理事会の承認を経て入会するものまたは団体であつて、入会金900円(現800円)および会費年額9,000円(現8,000円)を納めるものとする。

第12条 学生会員は、理事会の承認を経て入会する学生であつて、会費年額3,000円(現2,000円)を納めるものとする。

第13条 外国会員は、理事会の承認を経て入会する外国在住のものまたは団体であつて、入会金800円(現600円)および会費年額8,000円(現6,000円)を納めるものとする。

付則の十

この定款の変更は、文部大臣の認可のあつた日から施行し、昭和57年1月1日から適用する。

表彰式

浅田賞 東京大学教授 千々岩健児君

「鋳造の研究による鉄鋼業への寄与」

浅田賞 中外炉工業(株)取締役 寺坂善保君

「連続式ストリップ塗装焼付ラインの改善普及」

ヘンダーソン賞 新日本製鉄(株) 小川洋之君、中田潮雄君、伊藤功君、細井祐三君、岡田秀弥君
(論文)「ステンレス鋼のすきま腐食におけるすきま内溶液の解析」

林賞 矢作製鉄(株)副社長 多田嘉之助君
「密閉電気製錬炉の設計および操業技術の開

発・工業化」

特別講演会

浅田賞受賞記念特別講演

1. 「鉄鋼業と铸物」千々岩健児君
2. 「連続式ストリップ塗装焼付ラインの最近の技術」寺坂善保君

湯川記念特別講演

「On the Aging and Strength of Ferrous Martensites」

本会名誉会員、MIT 名誉教授 モーリス・コーエン君

講演大会

講演大会は製銑関係152題、製鋼関係144題、加工関係140題、性質関係305題、計741題の講演が14会場に分かれ、活発な討論が行われた。また上記講演の他次のテーマによる討論会が開催された。

- 1) 高炉における計測技術 座長石川 泰
- 2) 連鉄時の酸化物系非金属介在物の挙動 座長 宮下芳雄、副座長 大橋徹郎
- 3) 大型形鋼への連鉄素材の活用 座長 柳沢忠昭
- 4) 低強度高韌性鋼の破壊韌性 座長 中村正久、副座長 布村成具
- 5) 鋼の高温低サイクル疲労 座長 金尾正雄

懇親会

11月1日午前6時30分より京都市都ホテルで金属学会と合同で開催された。京都大学真嶋宏教授司会のもと、盛実行委員長、大平金属学会会長、武田本会会長挨拶の後、本会よりM. Choen氏、金属よりJ. S. Koehler氏のスピーチがあり、両会を代表して、沢村宏京都大学名誉教授の乾杯の音頭で始められた。

270名の参加者を迎え、各地から参集した会員間で歓談がくりひろげられた。今日午後8時まで盛況を呈し、最後に堀大会副実行委員長(大阪大学教授)の挨拶で終了した。

ジュニアパーティー

11月2日午後7時より中小企業会館6階第9会議室で開催された。各地より参加した170人の若手技術者、研究者を中心になごやかに懇談がなされた。

見学会・婦人見学会

工場見学は11月4日金属学会と合同で、また婦人見学会は11月2日それぞれ開催された。

(工場見学)

第1班 (株)神戸製鋼所加古川製鉄所

第2班 住友電気工業(株)伊丹製作所

第3班 三菱自動車(株)京都製作所・福田金属箔粉工業(株)山科工場

(婦人コース)

京都市内観光